

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
1	要件定義書	8	(1)システムの利用者数 表4 作業数	・ALAYAユーザアカウントは、サイトの編集/承認作業毎にアカウント割り当てておりますでしょうか。 もしくは、編集/承認作業を行う課室毎にアカウントを割り当てておりますでしょうか。 ・また更改後にALAYAアカウントの増加は見込んでおりますでしょうか。	現行では、編集/承認作業を行う課室ごとにアカウントを割り当てており、次期(本調達)でも基本的には同様の運用を想定しております。共有アカウントでの運用に関する記載を要件定義書に追記させていただきます。 また、更改後にALAYAアカウントの増減の可能性がございます。アカウント管理については、要件定義書の運用関連の項目に追記させていただきます。
2	要件定義書	23	一般利用者を除くシステム利用者の認証を行う機能として、二要素認証方式を採用すること。パスワードに対し、桁数や文字種など、厳格なパスワードポリシーによる管理機能を備えること。	認証をおこなうのはCMS(=ALAYA)なので、二要素認証やパスワードポリシーはALAYAが提供する機能をそのまま使用する想定でよろしいでしょうか。	ご認識の通りです。
3	要件定義書	12	一般利用者(職員)、システム利用者(職員/原課)、システム利用者(職員/広報)	一般利用者(職員)、システム利用者(職員/原課)、システム利用者(職員/広報)はGSSからアクセスするのでしょうか。別の閉域ネットワークからアクセスするのでしょうか。	GSS移行に関しては現時点では予定のため、詳細は決まっています。現時点では、職員が管理画面にアクセスする際はGSS端末を利用しGSSネットワークからアクセスすることを想定しています。
4	要件定義書	-	-	本調達におけるライセンス(CMS「ALAYA」およびその他必要な製品)の帰属先についてどのように想定されているか教えてください。	本調達の業務開始時に新規で購入いただく必要があります。 また、契約終了後は当該ライセンスは当庁に帰属する想定です。これらの事項について要件定義書に追記させていただきます。
5	要件定義書	23	システム利用者の認証を行う機能として、二要素認証方式を採用すること	接続元のIPアドレスとパスワードによる2要素認証で問題ないでしょうか	ID/パスワードによる認証に加え、登録メールアドレスへ送付のワンタイムパスワードによる認証等を想定しております。ただし、コストや運用上のメリット等に鑑み、接続元IPアドレス制限の実施も含めて提案いただくことは可能です。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
6	要件定義書	7	CMSについては、基本的に現行 CMS製品 (ALAYA)を継続して利用することを想定	現行のALAYA以外のCMS導入の提案することは可能でしょうか。	基本的にはALAYAの利用を想定しておりますが、コストや運用上のメリット等に鑑み、別のCMS製品で提案いただくことも可能です。
7	要件定義書	39	改善に要する工数として年間3人月を計上すること	CMSの機能・画面のカスタマイズも想定されていますでしょうか。	ALAYAを使用する場合は、基本的にカスタマイズは実施しないことを想定しております。ただし、提案としてカスタマイズに関する内容を含めていただくことは可能です。
8	要件定義書	13頁	JIS X 8341-3:2016適合レベルAAに準拠していること	JIS X 8341-3:2016のレベルAAに「準拠していること」ですが、JIS試験等を行う想定でしょうか。試験を行う場合、ページ修正等の指摘事項への対応が発生しますでしょうか。	JIS試験の実施については、本調達の範囲外となります。しかし、その試験で抽出された指摘事項への対応(ページ修正等)が発生する見込みです。これらの内容について、要件定義書に追記させていただきます。
9	要件定義書	13	2023年4月の準拠性検査結果	頂いた資料またインターネット上に当該内容を、当方では見当たりませんでした。どちらにありますでしょうか。	「2023年4月の準拠性検査結果」については誤った表記であったため、JIS試験含むアクセシビリティチェックで抽出された指摘を基にしたページ修正が年に数回程度発生する見込みである旨に修正させていただきます。
10	その他	7頁	年に1回の割合で一般利用者に対して「原子力規制委員会広報総合評価・分析」を行っている。次の項目についてアンケート結果を踏まえ、改善の提案と対応方法を検討すること	入札実施要項(案)に記載の左記の内容について、過去に実際対応した改善対応は何かございますでしょうか。対応がある場合、どのような内容でしたでしょうか。	過去には、各ページのスマートフォン対応や画像の追加による視認性の向上等を行っております。 なお、過年度の「原子力規制委員会広報総合評価・分析」結果については、規制庁HPに掲載しておりますので、必要に応じてご確認ください。
11	要件定義書	31	開発手法(ウォーターフォール、アジャイル等)は、豊富な成功実績を有する確立されたフレームワーク(設計・開発プロセス)を採用すること。	本案件におけるコンテンツ作成手法は、すべてCMS (=ALAYA)での作成を前提とする、設計・開発プロセスと認識しておりますが、よろしいでしょうか。	ご認識の通りです。
12	要件定義書	31	指定登録機関	指定登録機関とは、どのような機関でしょうか。	請負事業者を示しております。記載の修正を検討させていただきます。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
13	要件定義書	P11	N-ADRESについては、N-ADRES側に新規登録された資料の連携	N-ADRES側に新規登録された資料の連携を行って、ホームページ上にどのように表現されることを想定されていますでしょうか。	現時点では以下の「外部インターフェース一覧」に記載されている内容の実施を想定しております。詳細な表示方法等については、要件定義～設計・構築の段階で具体化していくことを想定しております。 No.2 事故・トラブル情報 ・ホームページシステムからN-ADRESに対して、N-ADRESに関する条件値を渡し、N-ADRESでの新着情報をホームページシステムへ返却する ・ホームページシステムはN-ADRESから受信したXMLファイルを閲覧者の利便性を考慮した表示に整形する
14	要件定義書	11	N-ADRES運用保守業者及び緊急情報・情報提供ページの運用保守事業者と連携し、SRU-API等のAPIを用いた連携等、オープンな方式を用いて実現すること	緊急時におけるコンテンツ作成はCMSで行わず、CMSでは「新着情報を自動で展開する」仕組みのみ提供するという理解でよろしいでしょうか。	緊急時用のテンプレートを基に、一部トップページのコンテンツ作成が発生する想定です。
15	要件定義書	26	N-ADRESへのアクセスについては、IPv6でアクセス可能であること	N-ADRESについては、現行のまま継続となりますでしょうか。	ご認識の通りです。
16	要件定義書	-	-	外部インターフェース一覧の実装について、具体的に今使われているページ等ございましたらご教示ください。	緊急情報・情報提供ホームページはトップページの上部の「緊急情報」「情報提供」と記載のある個所になります。 N-ADRESについては、委員会や審査会合のページから情報取得になりますが、データの取得元の詳細はN-ADRESの運用保守事業者と協議した上で確定する想定です。
17	要件定義書	14	政府が構築した「ガバメントクラウド」にて、WEBサービスを構築及び運用することとする。	サービスの基盤構築は政府が実施し、クラウド基盤上にサービスを構築するといった役割分担になりますでしょうか。またこの場合、ガバメントクラウドの利用料負担は政府になりますでしょうか。	ご認識の通りです。
18	要件定義書	14	クラウドサービスはAmazon Web Services(以下、AWSという)を利用すること。	ガバメントクラウドの対象となるクラウドサービスはAWS以外にもありますが、AWSのみが前提となりますでしょうか。	基本的にはAWSの利用を想定しておりますが、コストや運用上のメリット等に鑑み、別のクラウドサービスで提案いただくことも可能です。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
19	要件定義書	23	なお、EDRソフトウェア等を利用し、端末やサーバ装置(エンドポイント)の活動を監視し、感染したおそれのある装置を早期にネットワークから切り離す機能の導入についても検討すること。	「端末」の文言削除を提案致します。	ご意見を踏まえ、要件の記載を変更します。
20	要件定義書	7	外部又は内部者による不審な行動を検知した場合にアラートを発報する	内部者の不審な行動についてはどういったことを想定されていますでしょうか。	業務時間外でのログインや、大量のコンテンツダウンロード等を想定しております。
21	その他	-	-	現行のウェブサーバのスペックをご教授ください。	現行のウェブサーバのスペックは以下です。 ■メインサーバ(Azure) CPU:4コア、メモリ:16GB、システムディスク:100GB、データディスク:2000GB ■検証用サーバ(仮想) CPU:2コア、メモリ:8GB、システムディスク:100GB、データディスク:500GB 現行のウェブサーバは所管が当室とは異なるため、今回は閲覧資料に含めることができませんでしたが、入札公示時の資料閲覧の対象資料には外部公開サーバに関する設計書等も含めるように調整します。
22	その他	-	資料閲覧について	資料閲覧をさせていただきましたが、公開いただいた情報はCMSに関する構築・運用(ALAYA関連)のもののみでした。公開サーバ(Azure側)の構築運用関連及びオンプレ側のサーバに関する資料も公開いただくことは可能でしょうか。	No.21と同様
23	要件定義書	P36	研修資料として研修実施状況を撮影した動画を作成すること。	研修動画ですが、運用開始前の操作研修を撮影したものを想定されていますでしょうか。	ご認識の通りです。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
24	要件定義書	37	(エ)研修会場・資材 ・研修で使用する会場や端末、プロジェクター等は原則として規制庁が用意する。 ・操作研修教材を含む、研修に必要なホームページシステム環境や資料は、請負事業者が用意する。研修で使用するテキストやマニュアル等の資料は、請負事業者が研修受講者数の部数を用意するとともに、電子媒体で1部納品すること。	研修の開催は対面(集合研修)のみでなく、WEB開催も可能とさせていただきたい。	対面のみでなく、Web開催も可能です。こちらの内容について要件定義書に追記させていただきます。 なお、動画の納入にて替えることも可能となります。
25	要件定義書	P24	開発/検証環境は合わせて1環境を想定している。	要件定義書P15図2システム概要図では検証環境と開発環境は別の独立した環境のように受け取れるのですが、開発/検証環境は同じ環境と想定してよろしいでしょうか。	構成図側が正しい記載となります。そのため要件定義書の該当箇所の記載を修正させていただきます。
26	要件定義書	P15	AWS構成図にCI/CDパイプラインの記載がない	AWS構成図にCI/CDパイプラインがありませんが、CMS管理外となる、問い合わせフォームや外部インターフェースとの連携用のコンポーネント(Lambdaコード、APIゲートウェイ設定、その他静的ファイルなど)のコード管理とデプロイについて、想定されている方法をご教示ください。	CI/CDパイプラインの利用を想定しております。正しい構成図に変更させていただきます。
27	要件定義書	15	図2 システムの概要	図2のシステム構成は例であり、要件を満たしていれば別構成でもよいという理解でよろしいでしょうか。	当該構成図はあくまで案であり、別の構成にて提案いただくことも可能です。
28	要件定義書	15	図2 システムの概要	システム構成図の中でRoute 53から行政LANへの接続がありますが、どのような通信要件でしょうか。	行政LANのDNSサーバとDNS委任していることを示したものであり、通信等は発生しない想定です。
29	調達仕様書	5	1-4. 業務・情報システムの概要 図1 システムの概要 本システムの概要は次の図のとおりである。	DR環境の部分を除いて、記載されている構成図で決定ということでしょうか。 提案の余地を配慮いただきたく、記載されている構成図は案としていただき、最終決定は貴庁と検討の上、決定としていただきたい。	要件定義書等の構成図についてはあくまでも案であり、別の構成での提案も可能です。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
30	要件定義書	39	(4)コンテンツ運用支援 ・本業務で導入するCMSを用い、原子力規制委員会ホームページのコンテンツの追加削除、更新等の作業を担当し、運用を支援する。なお、作業工数としては0.5人月程度を想定している。	以下の点について、ご教授ください。 ・具体的な実施事項の概要、実績もしくは想定件数	想定実施事項と件数は以下になります。こちらの内容を要件定義書に追記させていただきます。 ・ページや画像の修正・新規作成:約100頁/月 ・ページテンプレートの修正・新規作成:約5件/年 ・アカウント管理:約5件/年 ※なお、既存ページのテンプレート化等により各件数が削減される可能性もございます。
31	要件定義書	39	(4)コンテンツ運用支援 本業務で導入するCMSを用い、原子力規制委員会ホームページのコンテンツの追加削除、更新等の作業を担当し、運用を支援する。なお、作業工数としては0.5人月程度を想定している。	貴庁様に置かれまして、過去の経験から運用削減のためにテンプレート作成や、逆に使ってなかったテンプレートの削除等の運用実績はありますでしょうか？	以下に記載のとおり、テンプレートの修正を適宜行っております。次期でも運用の実施事項のひとつとして、必要に応じてテンプレートの修正が発生する想定です。 また、0.5人月程度の工数としておりましたが、改めて精査した結果、上記以上の工数となる可能性が高いことを確認しました。以下の記載を要件定義書に追記する想定ですので、こちらを基に必要人員数等を検討いただけますと幸いです。 ・ページや画像の修正・新規作成:約100頁/月 ・ページテンプレートの修正・新規作成:約5件/年 ・アカウント管理:約5件/年 ※なお、既存ページのテンプレート化等により各件数が削減される可能性もございます。
32	要件定義書	39頁	本業務で導入するCMSを用い、原子力規制委員会ホームページのコンテンツの追加削除、更新等の作業を担当し、運用を支援する。 なお、作業工数としては0.5人月程度を想定している。	コンテンツ運用支援として、具体的な実施事項の概要、実績もしくは想定件数について確認させていただきますでしょうか。	想定実施事項と件数は以下になります。こちらの内容を要件定義書に追記させていただきます。 ・ページや画像の修正・新規作成:約100頁/月 ・ページテンプレートの修正・新規作成:約5件/年 ・アカウント管理:約5件/年 ※なお、既存ページのテンプレート化等により各件数が削減される可能性もございます。
33	要件定義書	P18	稼働率99.9%	運用アカウントのEC2は記載されている稼働率99.9%の対象となりますでしょうか。EC2一台ではSLAは99.5%となります。冗長構成にすると99.9%での提供が可能なため、稼働率の計算に含める場合は構成変更が必要な認識です。	ご意見を踏まえ、目標稼働率の対象となるサービスを「CMS」と「Webサービス」に分け、それぞれの目標稼働率を記載することとします。

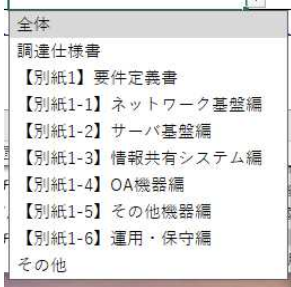
項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
34	要件定義書	22	大規模な災害が発生し、原子力規制庁が被災した場合においても、在宅等で業務を継続できるようにすること。	被災時もCMSへのコンテンツ登録などを可能にする、すなわち大阪リージョンにもCMSが必要とする想定でしょうか。	CMSは東京リージョンのみの構成としています。被災時は別途緊急時情報ホームページにて情報を公開することを想定しています。
35	要件定義書	22	大規模な災害が発生し、原子力規制庁が被災した場合においても、在宅等で業務を継続できるようにすること。	在宅から大阪リージョンに直接VPN接続する想定でしょうか。それとも在宅からGSS経由で大阪リージョンに接続する想定でしょうか。	在宅から大阪リージョンへ接続する際はVPN接続を想定しています。
36	要件定義書	22	被災時の在宅勤務	被災時は、認証をおこなうのは大阪リージョンのCMS(=ALAYA)であり、二要素認証やパスワードポリシーはALAYAが提供する機能をそのまま使用する想定でよろしいでしょうか。	ご認識通りです。
37	要件定義書	A.1.1.1	24時間無停止(計画停止は除く)	CMSも対象システムになりますでしょうか。01_要件定義書(案)P18には99.9とありますがこちらの違いはどういったことになりますでしょうか。	No.33と同様
38	要件定義書	P40	保守開始から当面の間は、本システム設計・構築に参画した者(リーダークラス)を1名以上含むこと	当面の間とはどのくらいの期間を想定しておりますでしょうか。	過去のシステム導入の経緯からリリース後にバグや障害発生が多い傾向を考慮し、リリース後に即、本案件からの関与を外すことがないよう、運用が安定するまでは設計・構築時のリーダークラスに残っていただきたいことを示しています。
39	その他	9	【入札実施要項(案)】請負事業者は、1万ページ(HTMLファイルで作成されたページ)を超える公共機関ホームページ(独立行政法人、地方公共団体を含む官公庁)において、運用の実績を直近3年間で有すること。	『請負事業者はホームページシステムの開発実績並びに運用実績を有すること。請負事業者として創意工夫し、ユーザビリティ、アクセシビリティに優れたホームページを作成した実績を有すること。その開発の取り組み等を提案書に記載のうえ、請負事業者が優れているとアピールできるホームページ実画面を用いて説明・提案すること。』への変更を提案致します。	ご意見を踏まえ、要件の記載を変更します。いただいたご意見を踏まえ、応札の障壁にならない要件に変更します。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
40	その他	9	【入札実施要項(案)】提案するCMS について、1 万ページ(HTML ファイルで作成されたページ)を超える公共機関ホームページ(独立行政法人、地方公共団体を含む官公庁)において、運用実績を有すること。	削除を提案致します。	ご意見を踏まえ、本要件を削除します。
41	調達仕様書	18	また、3件のうち1件は過去5年以内に1つのシステムでクラウドサービスの設計開発及び運用保守の全てにおいて責任者としてシステムライフサイクル全体の業務を完遂した実績を証明すること。	『また、過去5年以内でクラウドサービスの設計開発実績もしくは運用保実績を有すること。』への変更を提案致します。	ご意見を踏まえ、要件の記載を変更します。いただいたご意見を踏まえ、応札の障壁にならない要件に変更します。
42	調達仕様書	18	CMSを利用した1万ページ超のホームページシステム更改業務におけるプロジェクトマネジメントの実績を3年以上有すること。加えて、日本工業規格(JIS X 8341-3:2016)をはじめ、アクセシビリティに配慮したホームページの構築業務におけるプロジェクトマネジメントの実績を有することが望ましい。	『アクセシビリティに配慮したホームページの構築業務におけるプロジェクトマネジメントの実績を有することが望ましい。』への変更を提案致します。	ご意見を踏まえ、要件の記載を変更します。いただいたご意見を踏まえ、応札の障壁にならない要件に変更します。
43	調達仕様書	18	設計・開発チームリーダー及び設計・開発メンバーに、経済産業省が認定する情報処理技術者試験のうち、以下のいずれかの試験区分の合格者を1名以上含めること。	・ネットワークスペシャリスト試験の削除 ・経済産業省が認定するプロジェクトマネージャ試験の追加 への変更を提案致します。	ご意見を踏まえ、要件の記載を変更します。経済産業省が認定するプロジェクトマネージャ試験は遂行責任者の要件としているため、設計・開発チームのリーダー及びメンバーとしての資格要件としての追加は想定していません。なお、遂行責任者と設計・開発チームのリーダーを兼務いただくことは可能です。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
44	調達仕様書	18	設計・開発チームリーダー又は設計・開発メンバーに、システムのユーザビリティに関する知識及び設計の実務経験を3年以上有するメンバーを配置すること。	原子力安全規制情報広聴・広報事業は、国民の原子力規制行政への理解・信頼回復へ資することを目的としているため、『産業廃棄物処理など、他の社会課題の取組みにおけるホームページでの発信業務に取り組んだ実績をもつメンバーの配置が望ましい』の追記を提案致します。	ご意見の内容を要件に追記することにより、応札に係る参入障壁になるため当該要件への追記はございません。
45	調達仕様書	18	設計・開発チームに、セキュリティ設計の監督、クラウドネイティブなセキュリティ設計を行うリーダーとして、以下のいずれかの資格と同等以上の資格を有する者がいること。	19頁1行目の(ア)の下に、システムアーキテクト試験の追加を提案致します。	システムアーキテクト試験は設計・開発チームリーダーの要件としているため、セキュリティ設計のリーダーとしての資格要件としての追加は想定していません。なお、設計・開発チームのリーダーとセキュリティ設計のリーダーを兼務いただくことは可能です。
46	調達仕様書	25	ISO27001を基準とした認証を取得していること	「部門又は組織」を「企業」へ緩和していただけないでしょうか。	当該要件の「部門又は組織」には応札いただく会社全体又は会社の一部門で認証を取得していることを意味しております。そのため、全ての部門で認証を取得していない場合でも、会社の一部門で取得している場合は応札に参加いただけることを示しています。
47	調達仕様書	25	ISO9001を基準とした認証を取得していること	削除を提案致します。	No.46と同様
48	調達仕様書	25	8-1. 競争参加資格 (4)令和04・05・06年度環境省競争参加資格(全省庁統一資格)「役務の提供等」の「A」、「B」又は「C」の等級に格付けされている者であること。(「役務の提供等」の営業品目「ソフトウェア開発」、「情報処理」又は「その他」に登録している者であること。)なお、令和07・08・09年度競争参加資格を引き続き取得すること。	(4)令和04・05・06年度環境省競争参加資格(全省庁統一資格)「役務の提供等」の「A」の等級に格付けされている者であること。(「役務の提供等」の営業品目「ソフトウェア開発」、「情報処理」又は「その他」に登録している者であること。)なお、令和07・08・09年度競争参加資格を引き続き取得すること。	競争参加資格が応札事業者の障壁とならないよう本案件は記載の等級とします。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
49	その他	9	入札実施要項(案)「4. 入札参加資格に関する事項」 「(13) 提案するCMS について、1 万ページ (HTML ファイルで作成されたページ)を超える公共機関ホームページ(独立行政法人、地方公共団体を含む官公庁)において、運用実績を有すること。」	必須項目ではなく、加点点目としていただけないでしょうか。	No.40と同様
50	その他	ー	(業務従事者に求められる知識・経験等) 運用チームリーダ ・本サイトと同規模以上のサイト運用リーダとして3件以上の経験を有すること。 運用チームメンバ ・サイトディレクション業務経験を2年以上有する者もしくは同等の経歴を有するものを1名以上含むこと。 ・CMSによるサイト運用について1年以上の実務経験をメンバー全員が有していること。 ・webクリエイター能力試験資格もしくは同等レベルのスキルをメンバー全員が有していること。 保守チームリーダ ・本サイトと同規模以上のCMSならびにサーバ関連保守リーダとして3件以上の経験を有すること。 保守チームメンバ ・本サイトと同規模以上のCMSならびにサーバ関連保守業務経験を1年以上有するものもしくは同等の経歴を有する者。 ・情報セキュリティ関連において、情報セキュリティマネジメント、情報処理安全確保支援士の資格保有者を1名以上含むこと。	入札実施要項(案)の「2 従来の実施に要した人員」において、「業務従事者に求められる知識・経験等」に記載の内容は評価項目一覧の遵守確認事項に記載はなく、要件としては対象外の認識でよいのか。	ご認識の通りです。別紙1の「従来の実施状況に関する情報の開示」はあくまでも過去の実績を示した資料になりますので、本調達の資格要件とは異なるものになります。
51	調達仕様書	17頁	図3 業務の推進体制例	設計・開発チームリーダーと運用・保守チームリーダーは同じ担当者でも問題ないでしょうか。設計・開発工程と運用・保守の時期は被らないため、問題ないと認識しております。	ご認識通り、設計・開発チームリーダーと運用・保守チームリーダーが同じ担当者でも問題ございません。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
52	調達仕様書	18頁	遂行責任者は、本システムと同規模以上の設計・構築の遂行責任者としての経験を3件以上有すること。また、3件のうち1件は過去5年以内に1つのシステムでクラウドサービスの設計開発及び運用保守の全てにおいて責任者としてシステムライフサイクル全体の業務を完遂した実績を証明すること。	要件に記載の「経験を3件以上有すること」、「設計開発及び運用保守の全てにおいて」に限定した場合、本要件以外のその他要件を含めると遂行責任者の選定が難しいのではないのでしょうか。 本要件では、以下を対象としてはいかがでしょうか。 ・「経験を3件以上有すること」 →「経験を1件以上有すること」 ・「設計開発及び運用保守の全てにおいて」 →「設計開発又は運用保守において」	No.41と同様
53	調達仕様書	18頁	遂行責任者は、CMSを利用した1万ページ超のホームページシステム更改業務におけるプロジェクトマネジメントの実績を3年以上有すること。加えて、日本工業規格(JIS X 8341-3:2016)をはじめ、アクセシビリティに配慮したホームページの構築業務におけるプロジェクトマネジメントの実績を有することが望ましい。	要件に記載の「実績を3年以上有すること」に限定した場合、本要件以外のその他要件を含めると遂行責任者の選定が難しいのではないのでしょうか。 本要件では、以下を対象としてはいかがでしょうか。 ・「実績を3年以上有すること」 →「実績を有すること」	No.42と同様
54	調達仕様書	26頁	請負事業者は、1万ページ(HTMLファイルで作成されたページ)を超える公共機関ホームページ(独立行政法人、地方公共団体を含む官公庁)において、運用の実績を直近3年間で有すること。	要件に記載の「運用実績を有すること」に限定した場合、本要件以外のその他要件を含めると請負事業者の選定が難しいのではないのでしょうか。 本要件では、以下を対象としてはいかがでしょうか。 ・「運用実績を有すること」 →「設計開発又は運用実績を有すること」	No.40と同様
55	調達仕様書	26頁	提案するCMSについて、1万ページ(HTMLファイルで作成されたページ)を超える公共機関ホームページ(独立行政法人、地方公共団体を含む官公庁)において、運用実績を有すること。	要件に記載の「運用実績を有すること」に限定した場合、本要件以外のその他要件を含めると請負事業者の選定が難しいのではないのでしょうか。 本要件では、以下を対象としてはいかがでしょうか。 ・「運用実績を有すること」 →「設計開発又は運用実績を有すること」	No.39と同様
56	要件定義書	17	オンラインスループットの目標値として、APIトランザクション30件/秒とすること。	APIとは「別紙2 外部インターフェース一覧」に記載のある3つのAPIでしょうか。それとも別のものでしょうか。	ご認識通りです。
57	要件定義書	17	「目標値」の1.0秒以内、など	オンラインレスポンスの目標値とは、クラウドサービス内の処理時間のことである旨を記載いただけますか。	ご意見を踏まえ、要件にいただいたご意見を追記します。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
58	その他	別紙1 機能一覧	スマートフォン専用のテンプレート作成	特定のページのみスマートフォン専用のテンプレートが必要となる想定でしょうか。また具体的な想定ページがございましたらご教示ください。	「スマートフォン表示でも対応可能なテンプレートの作成」が正しい表現となるため、記載を変更させていただきます。
59	その他	入札実施要項(案) 別紙1	規制庁専用端末貸与PC4台	こちらの貸与PCの台数について、追加は可能でしょうか。	規制庁専用端末の貸与PCについては運用保守を執行するに伴い必要な台数を申請いただき、現行台数よりも多く申請する場合は、規制庁専用端末の所管部門と調整する必要があります。
60	その他	別紙3 機能一覧	外国語サイト運用 翻訳機能	日本語以外の複数言語ホームページを作成できるとありますが、想定言語をご教示ください。また現在英語ページがありますが、多言語翻訳機能を付加することで英語ページ廃止は想定されておりますでしょうか。	外国語ホームページについては現行と同様に英語ページを作成する想定です。また、翻訳機能については、ブラウザでの翻訳機能への対応等を想定しております。なお、同対応を行った場合でも、トップページ等の特定のページにおいては個別に英語ページを作成する想定です。
61	要件定義書	25	macOS: Big Sur、Android: 11、iOS: 15	macOS、Android、iOSは最新バージョンを使用したほうが良いのではないのでしょうか。	ご意見を踏まえ、それぞれ最新バージョンに記載を修正します。
62	要件定義書	25	一部のフィーチャーフォンでも閲覧可能とすること。	フィーチャーフォンのサポートは不要ではないのでしょうか。	ご意見を踏まえ、当該記載を削除します。
63	その他	-	-	現行システムのアクセス分析で利用しているツール等ありましたら、ご教授ください。	現行ではGoogleAnalyticsを使用しております。
64	その他	-		このエクセルの対象資料のプルダウンにある選択肢の資料が、意見招請の資料にない。 【別紙1-1】ネットワーク基盤編、【別紙1-2】サーバ基盤編等の資料があるのであれば、開示をお願いします。	左記の資料は存在しません。意見招請用のExcelファイルの表記が誤ったものとなっていることを確認しました。
65	要件定義書	24	個人情報の保有期間を本人に明示すること	こちらの要件については、具体的にどのページのことになりますでしょうか。もしくはCMSの登録画面になりますか。	原子力規制委員会への御意見・御質問ページが該当すると考えています。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
66	全体	-	-	・13ページの最下行の1行上「閉庁日」には「十二月二十九日から翌年の一月三日までの日」も含まれるのではないか？ ・仕様書の10ページの7行「取りまとめ」と、21行「とりまとめ」とは、どちらかに字句を揃えたほうがよい。 ・13ページの15行「以下、」は「以下」のほうがよい。 ・9ページの11行以下で引用されている法律の法令番号を記載したほうがよい。 ・10ページの30行(提供等」)は(提供等)」のほうがよい。 ・12ページの(4)の1行「予算決算及び会計令」は「予決令」のほうがよい。	ご意見を踏まえ、修正します。
67	要件定義書	-	-	・28/59ページの9行「あたり」は「当たり」のほうがよい。 ・28/59ページの最下行の5行上「または」は「又は」のほうがよい。 ・6/59ページの9行「規制庁」は「当庁」のほうがよい。 ・21/59ページの最下行の7行上「著作権法」の法令番号を記載したほうがよい。 ・16/59ページの12行「神田電」は「神田 電」のほうがよい。 ・21/59ページの22行「54 条」は「54条」のほうがよい。	ご意見を踏まえ、修正します。
68	要件定義書	-	-	6/59ページの26行から33行までの文頭のインデントの位置が不適当である。	ご意見を踏まえ、修正します。
69	要件定義書	8	CMS登録の年間処理件数40,749頁	一年間で登録された頁数という理解でよろしいでしょうか。(その結果の総頁数が、p.9表8の3行目の92,231頁という理解でよろしいでしょうか。)	ご認識の通りです。
70	要件定義書	8	6～7月に年間の約19%が集中	可能であれば、集中する背景・要因をお教えてください	年ごとにアクセス集中時期が異なることもある等、アクセス集中の特定の背景・要因等はございません。
71	要件定義書	9	ファイル数の201,657	ファイル数も頁数と連動して、移行対象が1/9程度に減るものでしょうか。	移行するファイル数の特定は、移行計画時に実施する想定です。一般的に、多くのページにはファイルが複数紐づいているため、1/9に近い割合でファイル数も減少する見通しです。
72	要件定義書	9	(3)情報・データ量 表8 情報・データ量	表8に記載されているデータ量、ページ数、ファイル数は、すべて現在ALAYAIにて管理されておりますでしょうか。	当該箇所に記載の情報は全て外部公開Webサーバ側に保存されている情報になります。CMS側の保存状況についても追記させていただきます。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
73	要件定義書	9	(3)情報・データ量 表8 情報・データ量	現行サイトで利用しているテンプレートは、移行対象に含まれますでしょうか。 また現行のテンプレート数と、次期で想定しているテンプレート数をご教授ください。	テンプレートについても移行対象に含まれる想定です。以下の内容について、要件定義書に追記させていただきます。 テンプレート数の詳細 ・現行:約60 ・移行対象:約40 なお、設計・構築の段階で数種類程度新たなテンプレートを作成する可能性があります。
74	要件定義書	34頁	「(1)移行リハーサル及び移行後作業」の全般	Webサーバ上のコンテンツ及びALAYAのデータ移行(リハーサル移行・本番移行)に関して、本番稼働中の既存サーバから実際にデータを抽出する作業は、どの事業者の想定でしょうか。 例えば下記が想定されます。 ①運用保守事業者(運用保守の範囲内で抽出作業を行う) ②運用保守事業者(本調達の請負事業者から再委託をして抽出作業を行う) ③本調達の請負事業者 本番稼働中の既存サーバであることから現行環境の運用保守事業者を経由した方がリスクが軽減されると思いますが、想定があれば教えていただけますでしょうか。	現行システムにおけるデータの抽出作業については、現行の運用保守事業者による実施を想定しております。ただし、抽出対象データの特定制(リストの作成等)については、請負事業者及び広報室にて行い、その情報を基に抽出作業を現行の運用保守事業者が行うことを想定しております。
75	要件定義書	34頁	なお、移行対象となる公開資料のうち、文字データのないPDF資料を抽出し、移行前にOCR処理を実施することが望ましい。	本業務では、OCR処理や読み取り処理等がございますでしょうか。ある場合は、業務内容について確認させていただけますでしょうか。	業務内容としては、一部文字データの無い画像へのOCR処理等を想定しており、大量の紙媒体のOCR処理等、大きな工数のかかる作業は実施しない想定です。また、本業務は本調達の必須実施事項ではございません。
76	要件定義書	34頁	※ 2024年3月のN-ADRES更改に際し、ホームページで管理していたページや資料等をN-ADRESに移行したため、移行対象データの総量が大幅に減少する見込みである。(ページ数については2023年度から1/9程度に減少する想定)	移行対象データから必要なデータを仕分けする作業(1/9にする作業)は、誰が、どのタイミング、どのような方法で実施する想定でしょうか。もし想定がございましたらご教示ください。	移行データの精査については、以下の方法での実施を想定しております。 ・タイミング:要件定義～移行計画 ・実施方法:当庁作成の必要ページ(ファイル)リストに基づき、請負事業者と最終決定を行う。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
77	要件定義書	32	設計・開発事業者固有のテスト手法を利用する場合の確認事項	記載のISO/IEC 12207はソフトウェアのライフサイクルを定義したものであり、ISO/IEC 25040はソフトウェアへの品質要求事項をまとめたものです。 ソフトウェアテストについて、より具体的にプロセス、ドキュメント、技法等について定めた国際標準ISO/IEC/IEEE 29119があるため、IEEE 29119も確認対象の例示に加えることを提案致します。	ご意見を踏まえ、追記します。
78	要件定義書	32	対応関係について確認すること	「対応関係について確認すること」の確認の観点や留意事項について教えてください。	設計・開発事業者固有のテスト手法及び品質検証手法を利用する場合において、ISO/IEC12207、共通フレームSLCPJCF2013等の標準的なテスト手法、ISO/IEC25040等の標準的な品質評価規格に基づいた手法となっているか確認することを想定しております。
79	調達仕様書	—	「評価項目一覧 - 提案要求事項一覧 -」に記載の得点配分	CMS製品(ALAYA)の機能要件充足に配点が多く設定されているように思われますが、現行環境でも利用されており、各社で点差ができていないのでしょうか。本案件はALAYAの機能要件充足よりもガバメントクラウド移行によるAWSでの構築や運用保守に関する部分が重要であると認識しておりますが、いかがでしょうか。	頂いたご意見を基に評価項目や配点を見直させていただきます。
80	調達仕様書	—	評価項目一覧 - 遵守確認事項 -	本案件はガバメントクラウド移行によるAWSでの構築や運用保守に関する部分が重要であると認識しております。 ガバメントクラウドの構築実績として、以下を対象としてはいかがでしょうか。 ・ガバメントクラウドへのホームページシステム移行実績 ・ガバメントクラウド上でのIaC(Infrastructure as Code)構築実績	必須条件にすると競争性を阻害する(参入不可の事業者が発生する)可能性が高いことから、ガバメントクラウドに関する実績等に関する加点項目を追加させていただきます。
81	要件定義書	10	画面設計について提案すること	同頁4行目に「設計工程において具体化されるものとする」とあるように、画面や画面構成等についての「提案」とは、応札時ではなく、画面設計時に行うという理解で宜しいでしょうか	応札時に提案いただいた内容を基に、設計工程でより具体化することを想定しております。
82	要件定義書	10頁	トップページの情報をコンパクトにまとめ、視認性・利便性の向上を図ること。ファーストレビューに表示される情報を増やし、閲覧者が次のページ遷移を行いやすいように工夫すること。	「【機2】要件定義書_別紙1_機能一覧」にトップページ案は記載いただいておりますが、左記の要件としてその他詳細情報やポイントはございますでしょうか。	ヘッダー・フッター及びグローバルナビゲーションの改修を想定しております。また、外部インターフェース一覧に記載のN-ADRESからの連携情報の表示も行う想定です。それらについて要件定義書に追記させていただきます。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
83	要件定義書	3.1.2	利用者のアクセスやリクエストに応じて、情報を出力する動的なHTMLを生成できる	具体的なページのイメージがありましたらご教示ください。	原子力規制委員会への御意見・御質問(お問い合わせ)のページでのPHPでのページ作成を想定しております。
84	要件定義書	3.3.4	公開する位置に合わせて相対パスで管理できる	こちらは絶対パスでの提案は可能でしょうか。	基本的には拡張性等を考慮し、相対パスの採用を想定しておりますが、運用上のメリット等を精査のうえ、絶対パスで提案いただくことも可能です。
85	要件定義書	3.4.1	HTMLやCSSソースを編集することなく、管理者がトップページ内の画像、配色を変更できる	配色の変更はどういったものを想定されていますか	ページの背景、文字等の色の変更を想定しております。
86	要件定義書	P39	想定問合せ数は電話・電子メール合わせて約2万件/年とする。	想定問合せ数について電話/メールの内訳想定数がありましたらご教示ください。	正しい想定件数は以下の通りです。以下の想定問合せ件数を要件定義書に追記させていただきます。 2026～2027年度:50件程度/年 2028年度:30件程度/年 2029年度:10件程度/年 なお、上記件数はメール・電話合算の件数にはなりますが、基本的にはメールでの意見受領を想定しており、電話については緊急性が高い場合のみ使用すること(年に1, 2件程度)を想定しております。
87	要件定義書	39	想定問合せ数は電話・電子メールあわせて約2万件/年とする	「想定問合せ数は電話・電子メールあわせて約2万件/年」について、月、曜日、時間帯等での偏りがあればお教えください。	No.86と同様。 なお、月、曜日、時間帯等での偏りは特段ありません。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
88	要件定義書	39	(3)ヘルプデスク ・ホームページシステムの障害を含めた問合せに対応する窓口を設置すること。 ・ヘルプデスクの対応可能時間(利用者が使用可能な時間)は、少なくとも原子力規制委員会の就業時間帯(平日9時～18時30分)とする。但し、緊急時に24時間365日対応を受け付ける窓口を別途用意すること。 ・想定問合せ数は電話・電子メールあわせて約2万件/年とする。	以下の点について、ご教授ください。 ・直近数年分の問合せ件数の実績 ・更改後に想定している問合せ件数の想定 ・想定問合せ数は約2万件/年とのことですが、1つの質問に対して複数回やりとりすることがあるかと思いますが、質問数でのカウントで2万件でしょうか。それとも、1つの質問で複数回やりとりした場合、やりとりした数でのカウントでしょうか。 ・1件あたりの解決までの平均時間をご教授ください。 ・ヘルプデスクで対応する問合せは、職員からの問合せでしょうか。それとも一般国民からの問合せも対応に含まれておりますでしょうか。	No.86と同様。 なお、1つの質問での複数カウントは行っておりません。複数回のやり取りが発生した場合でも1件として算出しております。 また、問合せ内容についてですが、操作に関する不明点から、大きな改修が必要な課題まで様々存在しております。そのため一概に平均解決時間をお示しはできませんが、問合せの大半が前者の操作に関する問い合わせになります。 ヘルプデスクでは職員からの問合せ対応を行い、一般ユーザからの問合せ対応は含まれておりません。
89	要件定義書	39頁	想定問合せ数は電話・電子メールあわせて約2万件/年とする。	ヘルプデスクの想定問合せ数は「電話・電子メールあわせて約2万件/年」ですが、実績値考慮して具体的な問合せの想定件数はございますでしょうか。	No.86と同様。
90	要件定義書	7	ヘルプデスク窓口として、職員からの問い合わせに対応する	CMSを利用している職員からのとりまとめ部署(想定:広報部門)からの問い合わせを受け付ける想定でよろしいでしょうか？	ご認識の通りです。以下の流れでの問合せ受領を想定しております。 CMSを利用している職員→とりまとめ部署(広報室広報班)→ヘルプデスク
91	要件定義書	39	想定問合せ数は電話・電子メールあわせて約2万件/年とする。	こちらの問い合わせは、どこからの問い合わせとなりますでしょうか？ ※庁外からの問い合わせは含まない想定でおります。CMS利用者の想定が承認者含め90名程度となっていますが、これらの職員からの問い合わせに対して、20,000件/年を想定されているのでしょうか。 また、問い合わせ内容についてですが、CMS操作以外の問い合わせも含む場合、どのような問い合わせがありますでしょうか	No.86と同様。
92	要件定義書	10	必要な画面を追加 必要な画面及び画面構成を検討	アクセシビリティについてはJIS X8341-3:2016準拠と基準が明確ですが、ユーザビリティについても基準、あるいは目安等がありますでしょうか。あるいはユーザビリティに関する現状の課題等をお教えたいただけないでしょうか。	記載漏れのため、要件を追記させていただきます。

項	資料名	頁番号	項目	意見等	回答
93	要件定義書	12	ユーザビリティ要件の詳細 (請負事業者決定後に協議、確定)	ユーザビリティに関する現状の課題等をお教えいただけない でしょうか	No.92と同様。
94	要件定義書	12	ユーザビリティ要件を以下に示す。	記載が漏れているように思われます。	No.92と同様。